

就労部会 活動報告

1. 障がい者の就労支援についての研修・意見交換会

【日 時】令和 6 年 8 月 8 日（木）14:00～16:30

【場 所】市庁舎 203 会議室

【参加者数】25 名（うち事務局 3 名、事業所実習生 1 名）

今年度は就労系事業所のサービス管理責任者等を対象とした「就労支援」をテーマに、栃木県立国分寺特別支援学校の野中先生と県南圏域障害者就業・生活支援センター「めーぶる」の梁島センター長を講師に迎え、研修会を開催した。就労に関する制度や取り組みについての知識を深め、障がい者雇用の理解促進および関係機関等との連携強化を図ることを目的とした。また、グループワークも実施し、普段交流の少ない事業所間（就労継続支援 A 型・就労継続 B 型）で就労支援における課題や各事業所が抱える現場での困り感等を共有し意見交換を行った。



【講演内容に関して参加者からの声（抜粋）】

- ・「国分寺特別支援学校で実施している進路支援について事例を通じた説明により分かりやすく理解できた」
- ・「就業・生活支援センターめーぶるの役割、就労支援の連携について理解できた」
- ・「一般就労に向けてめーぶると連携して支援を進めていきたい」

【グループワーク（意見交換）について（抜粋）】

- ・「共通課題を今後どのように取り組んでいくかを考える機会になった」
- ・「交流の機会が少ないので、不安な点などが質問できて良かった」
- ・「支援学校の仕組みを理解できた」「これからの支援は、一般就労に向けて動きたい」という意見が挙がった。

<総括>

研修会とグループワークを実施し事業所同士の横の繋がり・顔が見える関係性の構築ができた。各事業所が抱える課題を他事業所と共有し、アイデアを出し合い課題解決に向けた体制作りが必要である。今後も課題となるテーマを挙げ、他事業所同士が交流を図れる機会を設け横の繋がり強化をはかる。

さらに、就労選択支援制度が新たに導入予定(令和7年10月1日施行予定)。これは、障がいのある方が就労先や働き方についてよりご本人に合った選択ができるよう、就労アセスメントの考え方を活用して、就労能力や適性等に合った選択を支援する新たな福祉サービス。今後もこのような研修を重ねることで、関連機関との横の繋がりをもっと深め、事業所として、支援員としてのスキルの底上げを図っていききたい。

2. アンケート結果

【設問1】本日の障がい者の就労支援についての研修・意見交換会の内容について

1. 良かった	17名	2. やや良かった	0名
3. 普通	1名	4. やや良くなかった	1名
5. 良くなかった	0名	6. 未回答	1名

【改善した方がよい点】

- ◆意見交換の時間を増やしてほしい
- ◆就労継続支援B型事業所の方と、もっと意見交換ができれば良かった
- ◆定期的に開催してほしい

【設問2】今回の研修会(グループワークも含め)で、感じたこと

- ◆テーマを絞り、もう少し時間が取れると良い
- ◆新たな考え方を聞くことができて良かった
- ◆今後、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所の運営が難しくなると思った
- ◆サービス管理責任者目線での悩み、支援員としての悩みをグループ分けのおかげで、充実したワークとなった
- ◆他事業所の様子が分かって良かった
- ◆同じ悩みを持つ事業所もあることが確認できてよかった
- ◆他事業所の意見を聴けたことや共通課題を今後どうしていくか考えることができて良かった
- ◆就労継続A型事業所との交流が少ない為、不安な点など質問出来て良かった
- ◆国分寺特別支援学校の進路支援に関する一連の動きを理解する事ができた

【設問3】次回、取り上げてほしい企画について

- ◆下野市内企業の障がい者雇用の担当者との意見交換会
- ◆施設見学
- ◆職員の育成に関する研修
- ◆他の福祉事業所との交流会